

自動化されたステップで Windows 10への移行を実現

Windows 10 に悩まされて睡眠不足に陥っていませんか？

行方不明のユーザープロファイル、予期せぬダウンタイム、互換性のないアプリケーションといった問題は、移行作業を混乱させる原因となります。しかも移行したから終わりというわけではありません。移行後、管理・維持していく方法も確立しておく必要があります。

IvantiのUnified Endpoint ManagerとFile Directorソリューションは、社員が生産性を維持するために必要とするOS、アプリ、ユーザープロファイルの移行プロセスを可能にします。さらにこれらのソリューションは、Microsoftのリリースサイクルに対応するために必要なメンテナンスプロセスも提供します。

OSのロックダウン



希望のWindows 10 OSの提供チャネルの単一のイメージを作成したら、Ivanti Unified Endpoint Managerで速やかにそのイメージを展開します。

ドライバの導入



このソリューションは、ハードウェアに依存しないイメージング(HII)技術を使用して各デバイスに必要なドライバのみを引き出します。

アプリの構成



Ivanti Unified Endpoint Managerによって、移行先のOSに基づいてアプリが自動設定されます。アプリが再インストールされたら、Ivantiはその時点から全てのソフトウェアライセンスを追跡します。

ユーザープロファイルの移行



一貫性のあるユーザーエクスペリエンスを維持するため、ユーザープロファイルを簡単に移行します。さらにIvantiのソリューションは、移行後、デバイスのログオン時間を短縮します。

ユーザーのデスクトップ上のファイルの同期



監査、セキュリティ、正確なIT管理機能を使用して、ユーザーのデスクトップ上のファイルをオンプレミスまたはクラウド上のストレージに同期します。ユーザーはIvanti File Directorを使用して、通常作業を行っている環境で作業を行い、ドキュメントをいつもの場所に保存できます。

内蔵のIvanti Xtraction Windows 10ダッシュボードを使用して
移行の進行状況をモニタリングしましょう

IvantiのUnified Endpoint ManagementとFile Directorが
Windows 10への移行にいかに関与するか、その仕組みをご確認ください。
<https://www.ivanti.co.jp/solutions/needs/migrate-my-users-to-win-10>